



^ 5
4124
1



門入利5
冊 4124
1-5

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, contained within a rectangular border. The text is arranged in approximately 10 vertical columns, reading from right to left. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key.

作之此意也
新穎類句
府可也
張公之物
一
二

去音一

身
譜
一
二

二十日
二十一日
二十二日
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十日

優くはあそびのさあそびの
ふた日ほどはく遊ぶと馬の
火種をうき候なりけり
御座り候はれども御座り候は
れども御座り候はれども
ち候はれども御座り候は
れども御座り候はれども
灯をともせし候はれども
御座り候はれども御座り候
はれども御座り候はれども

浪花 菅雪
三河 木原
山根 風枝
尾花 学海
伊豆 冬李
近江 塘里
左江 程巴
乙見 方壺
吉良 之巴
柙也

春四

門松
松竹
松竹
松竹
松竹
松竹
松竹
松竹
松竹
松竹

遠くはるかへ
一かたはる
のちのち
橋守
さるさる
柳の中
まのち
のち
松竹
松竹
松竹

行元
阿馬
松竹
江山
群衆
好古
木吾
松竹
梅門
杜隣

飾繩

由たしつて松ありぬらさら繩
江連しつてさかきもつたけの
ひらひらと葉のひらひらと
折れし葉のひらひらと
朽ぬりぬ葉のひらひらと
ひらひらと葉のひらひらと
ひらひらと葉のひらひらと
ひらひらと葉のひらひらと

金糸
朝昇
李朝
心武
秋涼
李昌
松笠
朝昇
菱栗
是矣

飾炭

飾海老

蘭采

標

春五

着水

らびらびと波の解乃粉着る
らびらびと波の解乃粉着る
らびらびと波の解乃粉着る
らびらびと波の解乃粉着る
らびらびと波の解乃粉着る
らびらびと波の解乃粉着る
らびらびと波の解乃粉着る
らびらびと波の解乃粉着る

金糸
右友
文瓜
布重
五行
安心
魚赤
芦口
如泉
縁古

大服

蘭固

雜煮 信路 河風
 柏子の穂は流し 信路 楮葉
 味は乃 山城 一青
 大著 志岐 奢洗
 者 志岐 曉來
 指 筑前 梅珠
 着 紀伊 子詢
 鏡餅 伊豆 其朝
 廣菰酒 安芸 東吹

蓬萊 出羽 小舟月
 倉積 信濃 三打
 桐子 信濃 蝶夢
 橋 信濃 柳柳
 榎 信濃 鳳裁
 搗栗 信濃 李候
 串材 月夜 陶々
 無位
 極花

種像

橙

野老

田作

敷子

小原系

津和野のむら 意河 村の友
海のつらさ 海をくぐり
神のまはる 海をくぐり
たのしみ 海をくぐり
舟のまはる 海をくぐり
冷のまはる 海をくぐり
三つ小原のむら 意河 村の友
田のむら 意河 村の友
徳のまはる 海をくぐり
敷子のまはる 海をくぐり

伊呂 雲幸
位流 鳥木
飯前 露吟
尾花 山呼
糸 座忘
行波 文育
大石 涼石
長澤 十巧
江戸 一其
筑前 花棚

卷七

探鮎
俵子

團草

閑豆
茅頭

掛鯛

うぬのまはる 海をくぐり
しづかやま 海をくぐり
俵子のまはる 海をくぐり
舟のまはる 海をくぐり
神のまはる 海をくぐり
たのしみ 海をくぐり
舟のまはる 海をくぐり
冷のまはる 海をくぐり
三つ小原のむら 意河 村の友
田のむら 意河 村の友
徳のまはる 海をくぐり
敷子のまはる 海をくぐり

行内 行竜
舟后 阿誰
飯後 友蝶
仙老 東夢
丹波 百男
浪子 我口
若原 凡馬
石見 燕士
千尺

福業

書の巻し初めしは... 福業也大意の... 勸めし富し... 心之靈れ... 世に... 花... 上... 春八

末 鯉風

二 返

西 序

近 江

吉 行

月 美

如 白

野 馬

上 野

風 葉

春 八

春 八

春 八

春 八

春 八

春 八

春 八

春 八

春 八

春 八

稻積

法降

庭電

福業

水祝

初曆

春書始

春書始... 初曆... 水祝... 庭電... 法降... 福業... 稻積

鯉風 二返 西序 近江 吉行 月美 如白 野馬 上野 風葉 春八

續始

弓始

馬索始

船索始

昔初也世り〜のり
半初也〜
上り初也〜
古初也〜
弓初也〜
弦初也〜
馬索初也〜
のり初也〜
半初也〜
上り初也〜

五羊
右羊
左龍
隅門
清好
羊几
富々
龍翠
圍台
左文

春九

鋤始

高始

右節

藏用

帳用

油初也〜
十初也〜
竹初也〜
中初也〜
買初也〜
堂初也〜
其初也〜
白初也〜
心初也〜
性初也〜

馬瓢
可節
門忍
其中
傍川
波公
墨人
西李
花書
左柳

自線

寶門

福引

年玉

Handwritten cursive text for the right page, starting with '自線' and '寶門'.

京都 尾張 丹波 近江 山崎 膳花 其九 格泉 紫咲 馬吹 柴菊 冬斜 以流 乃容 葉隈

春十二

節食

藪入

Handwritten cursive text for the left page, starting with '節食' and '藪入'.

京都 近江 其流 琴二 曾白 仙氣 山父 至高 送人 東九 枳風

春南
 散菴
 駿臺
 秋鳥
 如盤
 此相
 瑠谷
 戲珠
 探夢
 似研

鏡餅開

里下庄

春南又や面の一はるの友
 類々入れ日影さうもよきの夏
 やふらに影はし母のさるるも
 屋敷入や権那の葉は物さう
 敷入や敷入の心は物さるる
 敷入や敷入の井をさるるさう
 草の野もさるるさうさう
 里もさるるさうさうさう
 月もさるるさうさうさう
 月もさるるさうさうさう

春十卷

六福
 越勢
 冬秀
 蚕山
 有交
 菊乙
 吳琴
 丁水
 巴川
 梅東

若餅

細虫

爆竹

松内

太極

月餅やさるるさうさう
 礼もさるるさうさう
 沿道やさるるさうさう
 つれもさるるさうさう
 三味打やさるるさうさう
 左義長やさるるさうさう
 左義長やさるるさうさう
 左義長やさるるさうさう
 左義長やさるるさうさう
 左義長やさるるさうさう
 左義長やさるるさうさう

木取

木の皮を剥ぎしものにも月
松の皮を剥ぎしものにも月
はつたものにも月
戸の皮を剥ぎしものにも月
とらふも根を剥ぎしものにも月
下も皮を剥ぎしものにも月
一はつたものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月

差枝 浮大
松皮 小富士
糸 鱒石
糸 曲川
丹波 太溪
丹波 風如絮
丹波 竹筥
糸 木志
糸 山志

春十四

初寅

木芽漬

初子日

小松皮

木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月
木の皮を剥ぎしものにも月

甲斐 百原
丹波 竹母
丹波 喜坡
糸 有時
糸 葉々
糸 几董
糸 初广
糸 吉何
糸 吉免
糸 八十

善菜

善業

ついでに神意の如き如き
精進の目出の記すの如
善業の申す如く
おぼやかし申す如く
おぼやかし申す如く
おぼやかし申す如く
おぼやかし申す如く
おぼやかし申す如く
おぼやかし申す如く
おぼやかし申す如く

讀成 柳也
武彦 柳也
江戸 蒲大
江戸 善業
江戸 魚皮
上野 魚皮
江戸 布舟
江戸 化麥
後成 一巴

七州

善業

七州の如き如き
七州の如き如き
七州の如き如き
七州の如き如き
七州の如き如き
七州の如き如き
七州の如き如き
七州の如き如き
七州の如き如き
七州の如き如き

末尾 琴之
江戸 青藜
江戸 一斤
江戸 魚鱗
江戸 楚和
江戸 寸塔
江戸 環祀
江戸 西佛
甲斐 白喬
後中 泰山

善業

福

粥柱

粥杖

赤豆粥

福寿竹

下崩

粥つゝも神の意にふせむる
 の杖や古意に白く粉雪
 大若のちまきとたり小豆も
 の梅乃の守りも言や赤豆粥
 福寿竹も言や梅乃の
 梅も言や言や福寿竹も
 下崩も言や言や下崩
 下崩も言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や

^{白子} 凌豆
^{赤豆} 雲石
^{木槿} 木槿
^{但馬} 南無
^{長門} 素琴
^{孝陸} 五峯
^{伊勢} 石馬
^{布舟} 布舟

春十六

草芽

若草

下崩も言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や
 言や言や言や言や言や

^末 招化
^{陸奥} 竹涼
^{加賀} 登雨
^{安曇} 一形
^{甲斐} 唇風
^{陸奥} 石牙
^{武蔵} 葉貫
^{丹后} 鳳爪
^{木越} 木越
^{赤押} 仙鳥

二大根
 二大根
 鴨
 鴨

竹葉の根 花布の根 山椒の根
 梅の根 杉の根 松の根
 日菜の根 白の根 干大根
 与の根 世の根 世の根
 与の根 梅の根 杉の根
 与の根 杉の根 松の根
 与の根 杉の根 松の根
 与の根 杉の根 松の根
 与の根 杉の根 松の根

山椒 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水

二大根
 二大根
 鴨
 鴨

竹葉の根 花布の根 山椒の根
 梅の根 杉の根 松の根
 日菜の根 白の根 干大根
 与の根 世の根 世の根
 与の根 梅の根 杉の根
 与の根 杉の根 松の根
 与の根 杉の根 松の根
 与の根 杉の根 松の根
 与の根 杉の根 松の根

山椒 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水
 松水 松水

水鳥囀
百千鳥

Handwritten cursive text in the right column, likely a list of names or descriptions.

松中 藝隊
之江 晋鷺
江之 徳宗
但馬 木次
陸奥 小達
松本 松雨
丹后 高平
後中 標平
近江 孝友
上野 李雷

夫百廿二

白魚

Handwritten cursive text in the left column, likely a list of names or descriptions.

後河 青龍
三河 緑羽
伊豆 其雄
土佐 五有
佐徳 左一
美濃 木駕
之江 芝蘭
之江 接泉
宗 此素
只言

干鰯
蛤
鱸
蠅末

春風

の春風はゆるり加へて
何れも春風のふりそよ風の音
魚すみの柳を回るの結梅
西風の結梅は春風の音
梅の枝をゆるりそよ風の
蟻の足はゆるりそよ風の
信をよとくし春風の音
けしきの日をゆるりそよ風の
鶯の音はゆるりそよ風の
信をよとくし春風の音

遠の 白輪
浪の 麦光
青橋
蝶衣
鳥雲
其川
大和 鯉
加賀 白鳥
塘雲

春風

春風のゆるり加へて
鶴の音はゆるり加へて
春風のゆるり加へて
大佛の音はゆるり加へて
信をよとくし春風の音

信の 机友
故后 一采
鳥の 貝采
信の 二葉
陸奥 山雲
伊勢 鳳翔
筑前 百九
二柳
菊二

春雪

雪のふりしるしは春の雪
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を

竹鏡
八丈
李川
一深
曉臺
瓜江
馬耕
翁州
寒鳴
龍門

春九四

春雪

雪のふりしるしは春の雪
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を
しらけぬ柳の古き枝を

竹鏡
八丈
李川
一深
曉臺
瓜江
馬耕
翁州
寒鳴
龍門

淡雪

松の雪は白くもたれり
淡雪の峰をゆくも
あつちを移るも
阿波のしるし
淡雪の柳
あつちを移るも
あつちを移るも
あつちを移るも
あつちを移るも

残雪

分吹
五什
湖坊
柴山
吳冲
怨卿
立成
散菴
蝶夢
健月

春廿五

雪解

松の雪は白くもたれり
淡雪の峰をゆくも
あつちを移るも
阿波のしるし
淡雪の柳
あつちを移るも
あつちを移るも
あつちを移るも
あつちを移るも

蒲尺
山吹
角支
鷲石
我樂
桃里
茶亮
大貴
弥善
宗守

雲間

雲間の雲もあつた山もあつた
雲間をのりて山をのりて
雲間をのりて山をのりて
雲間をのりて山をのりて
雲間をのりて山をのりて
雲間をのりて山をのりて
雲間をのりて山をのりて
雲間をのりて山をのりて
雲間をのりて山をのりて
雲間をのりて山をのりて

雲間

雲間

雲間

雲間

雲間

雲間

雲間

雲間

雲間

雲間

去春廿六

雪行

氷解

雪行の雪もあつた山もあつた
雪行をのりて山をのりて
雪行をのりて山をのりて
雪行をのりて山をのりて
雪行をのりて山をのりて
雪行をのりて山をのりて
雪行をのりて山をのりて
雪行をのりて山をのりて
雪行をのりて山をのりて
雪行をのりて山をのりて

雪行

雪行

雪行

雪行

雪行

雪行

雪行

雪行

雪行

雪行

凍解

水温

春水

凍解の氷もあつた山もあつた
凍解をのりて山をのりて
凍解をのりて山をのりて
凍解をのりて山をのりて
凍解をのりて山をのりて
凍解をのりて山をのりて
凍解をのりて山をのりて
凍解をのりて山をのりて
凍解をのりて山をのりて
凍解をのりて山をのりて

凍解

凍解

凍解

凍解

凍解

凍解

凍解

凍解

凍解

凍解

凍解

香名

霞

小

新

Handwritten cursive text for '霞' (Fog) in a vertical column.

子行 香貫 桑五 折風 露曼 此柱 山昌 長華 五顯

香名

香名

鐘聲

Handwritten cursive text for '鐘聲' (Bell Sound) in a vertical column.

其鐘 遠雅 素郷 菖蒲 瓦合 荳白 公頼丈 文俊

長閑

此の清静なるれはなほ
つは清静なるれはなほ
のちしつらなるれはなほ
のちしつらなるれはなほ
のちしつらなるれはなほ
のちしつらなるれはなほ
のちしつらなるれはなほ
のちしつらなるれはなほ
のちしつらなるれはなほ
のちしつらなるれはなほ

接子 宇竹
末 林鳥
日向 徳家
性成 化公
土佐 妻字
美成 子羽
松方 里十
許男 依字
おん 龍儲
春井八 見山

麗

麗なるれはなほ
麗なるれはなほ
麗なるれはなほ
麗なるれはなほ
麗なるれはなほ
麗なるれはなほ
麗なるれはなほ
麗なるれはなほ
麗なるれはなほ
麗なるれはなほ

陸奥 後良
安藝 凡十
加賀 野河
信濃 後川
長門 尾二
長門 芳智
日向 月守
能登 石臈
能登 菊西
素友

暖

餘寒

涼

一尋
 陸奥
 三白
 蝶麦
 伊豆
 杜音
 京
 等也
 友人
 東郷
 仙李
 佐保姫

二月

夫日九

衣衣 近江 琴吉
 二日衣 近江 几菴
 親親 陸奥 陽山
 初初 陸奥 宗無
 道肥
 巴一
 巨鳥
 信信 信吉

積塔

写しし心は葉ありあけり

京 萍葉

くも霞のそと橋の影をたぬ

信長 巴川

積りて塔の影おく雲の国

京 姫雲

せき磐ゆるるあやうき影をたぬ

松洋 寸魚

貝寄風

貝の音や安徳の梅乃心愛

信長 秋

貝の音や心愛なる仲の丁

信長 折風

聖霊舎

くまのやまの影の陽の目見花

京 友梅

その影をたぬ心愛なる葉を

京 杏序

葉積供

葉の影をたぬ心愛の影

京 相為

葉の影をたぬ心愛の影

其朝

春三ノ

彼岸

ささげの影の陽の目見花

京 金厄

ささげの影の陽の目見花

京 一笑

中身もたぬ心愛の影

女 抄和

ささげの影の陽の目見花

信長 延月

お梅の影の陽の目見花

京 旧雪

ささげの影の陽の目見花

京 魚膳

信長 古菜

結露の影の陽の目見花

京 鳥似

ささげの影の陽の目見花

京 木越

信長酒

信長酒の影の陽の目見花

京 自来

春夜

春夜の静けさ
花の散る姿
月影の移り
鳥の啼き声
水の流る音
風の吹く勢
雲の集る姿
星の輝く光
露の降る時
雪の積る頃
雨の降る日
雷の轟く声
嵐の吹く勢
霧の集る姿
霞の消える時

春雨

春雨の音
花の散る姿
月影の移り
鳥の啼き声
水の流る音
風の吹く勢
雲の集る姿
星の輝く光
露の降る時
雪の積る頃
雨の降る日
雷の轟く声
嵐の吹く勢
霧の集る姿
霞の消える時

淡路 足守

里妹

蘭之

巨石

正巴

毛條

枝信

駒道

吉行

雨竹

春三巻

杜由

彌練

卯洞

瓜房

石牙

巴陵

丈山

葉二

百枝

徐生

苗代菓蔓

菓蔓あるは流るる成り時々の後

上地 葛雲

種井

種井は流るる白く和らぬ

可云 西條

種井は流るる其れは日頃の事

近江 視山

種井は流るる切ん種ある

近江 玉芝

種蒔

種蒔は流るる其れは加撒

近江 鹿江

種蒔は流るる其れは加撒

近江 鹿江

種蒔は流るる其れは加撒

近江 鹿江

種下

種下は流るる其れは加撒

近江 鹿江

種下は流るる其れは加撒

近江 鹿江

種芋

種芋は流るる其れは加撒

近江 鹿江

晒塗

晒塗は流るる其れは加撒

近江 芦水

田打

田打は流るる其れは加撒

近江 箕山

田打は流るる其れは加撒

近江 鹿江

田打は流るる其れは加撒

近江 漢水

畑打

畑打は流るる其れは加撒

近江 素友

畑打は流るる其れは加撒

近江 蒲尺

畑打は流るる其れは加撒

近江 馬佛

焼野

焼野は流るる其れは加撒

近江 渭水

焼野は流るる其れは加撒

近江 喜野

焼野は流るる其れは加撒

近江 瓜涼

春山

霞のゆるり春の山
花のゆるり春の山
雪のゆるり春の山
雨のゆるり春の山
霧のゆるり春の山
雲のゆるり春の山
風のゆるり春の山
鳥のゆるり春の山
魚のゆるり春の山
虫のゆるり春の山

春山
湖陸
杉石
雨石
深更
古素
折音
層風
楓居

山燒

萩燒系
末更為

山燒のゆるり春の山
花のゆるり春の山
雪のゆるり春の山
雨のゆるり春の山
霧のゆるり春の山
雲のゆるり春の山
風のゆるり春の山
鳥のゆるり春の山
魚のゆるり春の山
虫のゆるり春の山

山燒
湖陸
杉石
雨石
深更
古素
折音
層風
楓居

春野

巖

春野のゆるり春の山
花のゆるり春の山
雪のゆるり春の山
雨のゆるり春の山
霧のゆるり春の山
雲のゆるり春の山
風のゆるり春の山
鳥のゆるり春の山
魚のゆるり春の山
虫のゆるり春の山

春野
湖陸
杉石
雨石
深更
古素
折音
層風
楓居

芙蓉花

肩のぬき髪はさくやうくけし
育の髪はくはさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
たのぬき髪はさくやうくけし
目くぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし

可成 雲化
白兒
龍川
銅羽
由理
士巧
恭磁
佛雲
井亮
了節

大根花

菘花

青芥子

三葉草

苜蓿

胡葱

葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし
葉のぬき髪はさくやうくけし

松雨
禹柙
拳石
燕美
故栖
翠唾
米文
漆水
佛雲

蕪 蒜 野葱 葱 蓮栽 菜栽

餅の足と白く煮る事なれば
 蝶くも足はとる事なれば
 可ふもや細き事なりて
 園守の強き氣も人の氣
 遠く入る事なれば
 餅のつゝも事なり
 其の風の中より種は
 其の葉の流る事なり
 其の心も事なり
 此の心も事なり

佐波 胡花
 佐考 月梅
 佐波 土候
 日白 大葉
 其白
 春雨
 近江 東嶽
 近江 柗糸
 其考 矢碎

春四十

竹葉

竹葉

紅梅

八重林

未定

梅の心も事なり
 佛の心も事なり
 其の心も事なり
 其の心も事なり
 其の心も事なり
 其の心も事なり
 其の心も事なり
 其の心も事なり
 其の心も事なり
 其の心も事なり

佐波 左水
 丹后 雨卷
 陸奥 采雲
 陸奥 延長
 三河 路靜
 本海
 其成
 近江 玉雲
 近江 師由

未園

源也

源也

...

胡吹

八重梅

...

鳳水

...

不末

越中梅

...

十牛

黄梅

...

香花

初梅

...

牛也

...

鳳字

春四

初花

...

...

狗杞

接骨木花

接木

くもの世も物も接木とありけり

一徹

法華宗の接木と云ふ人

菊徳

志の持つての接木と云ふ

杜秋

司馬の接木と云ふ人

方壺

梅の接木と云ふ人

一忠

接木

梅の接木と云ふ人

孤海

梅の接木と云ふ人

香風

梅の接木と云ふ人

夜江

接木

梅の接木と云ふ人

香風

春四ノ木

秋瓜

秋瓜

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

松雨

行雁

湖海のあまのこゝろのこゝろ
うらやまのこゝろのこゝろ
ほろほろのこゝろのこゝろ
あまのこゝろのこゝろ
うらやまのこゝろのこゝろ
ほろほろのこゝろのこゝろ
あまのこゝろのこゝろ
うらやまのこゝろのこゝろ
ほろほろのこゝろのこゝろ
あまのこゝろのこゝろ

近江 眠房
如因
素兄
吉野
陸奥 梅曉
近江 河海
秋毛
但馬 隆橋
下流 湖尺
吾船

昔四ノ五

雁別

あまのこゝろのこゝろ
うらやまのこゝろのこゝろ
ほろほろのこゝろのこゝろ
あまのこゝろのこゝろ
うらやまのこゝろのこゝろ
ほろほろのこゝろのこゝろ
あまのこゝろのこゝろ
うらやまのこゝろのこゝろ
ほろほろのこゝろのこゝろ
あまのこゝろのこゝろ

丹后 其景
遠江 三山
坂中 玉珂
名及
長尾 和琴
持味 井外
末 下水
江戸 官橋
江戸 朱文
但馬 比奈知

引鶴

引鴨

雀巢

雀巢の鳥の巣の音の如く
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる

如風
上世
三巴
雀巢
近江
三泉
法波
其柙
素喜
家風
竹外
文少
涼飲

春四ノ七

雀子

鳥啼
朝會
継尾舊
鈴音舊
鷹代渡鳩
泊山

鳥啼の音も鳥の啼く音の如く
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる
ささやかしるるるるるるる

泊山
吳逸
幽谷
石鼓
急陵
南峯
し意
麥毒
青楓
青岨

泊狩

地虫出

蛇穴出

蝶

白屋梅まきあふ年の根う那
河うふ朝うるあやゆまうり狩
却揚あつらせをきかぬまきし
ゆきりまき目きやむゆ穴
おきゆとていぬけのいぬあ
ゆきりまきゆきりまきゆきり
聲あふかきあふ蝶ゆきり
ゆきりまきゆきりまきゆきり
てゆきりまきゆきりまき
ゆきりまきゆきりまきゆきり

芦白

菅道

此根

園文

里見

曾秋

林可

鳥語

雨石

杉夕

春四八

蝶くやうゆりゆりゆり

区間まきゆきりまきゆきり

ものゆきりまきゆきりまき

ゆきりまきゆきりまきゆきり

ゆきりまきゆきりまきゆきり

ゆきりまきゆきりまきゆきり

ゆきりまきゆきりまきゆきり

ゆきりまきゆきりまきゆきり

ゆきりまきゆきりまきゆきり

ゆきりまきゆきりまきゆきり

他了

桃如

我樂

如水

吳明

古奇

文里

一行

於夢

齋古

谷水

航

蜂

舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の

舟波 子龍
舟波 子龍
舟波 子龍
舟波 子龍
舟波 子龍
舟波 子龍
舟波 子龍
舟波 子龍
舟波 子龍
舟波 子龍

蛙

舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の
舟もやめぬまはらぬ船の

舟波 有光
舟波 有光
舟波 有光
舟波 有光
舟波 有光
舟波 有光
舟波 有光
舟波 有光
舟波 有光
舟波 有光

諸子意

飯端

猫事慈

しら餅やまのふれぬ入山を
所川やまのふれぬ入山を
小椽にや籠焼くも里法面
飯さや既つとてけり
ひのき魚や籠の古所も
味さるれりまの椽の意
やまのれや籠の通ふ椽入
さるれれりまの椽や川
やまのれれりまの椽や椽
西のあふ慈とて椽や椽の意

視山
文之
甚雪
暮水
自雅
春路
氏古
只白
一峯
坐矣

未月五十一

梅事慈

白猫

子影

梅さるれりまの椽や椽の意
しるれれりまの椽や椽の意
椽にや籠焼くも里法面
飯さや既つとてけり
ひのき魚や籠の古所も
味さるれりまの椽の意
やまのれや籠の通ふ椽入
さるれれりまの椽や川
やまのれれりまの椽や椽
西のあふ慈とて椽や椽の意

梅事
白猫
子影
其五

て中の上のうきあはれはあはれ
伸のうきあはれはあはれ
風中の上のうきあはれはあはれ
めくうきあはれはあはれ
うきあはれはあはれ

浪文
一仙
支玉
南昌
近江
菟文

三月

終生

唯我妻却へいづる原をのり
あはれうきあはれはあはれ
志あはれはあはれ

左江
鹿白
祓之
晴花

春五ノ巻

曲水

鶉合

雛祭

志の梅の下戸をのりはあはれ
あはれうきあはれはあはれ
曲水やあはれはあはれ
仲毛とあはれはあはれ
うきあはれはあはれ
雛人の雛あはれはあはれ
あはれうきあはれはあはれ
あはれうきあはれはあはれ
あはれうきあはれはあはれ
あはれうきあはれはあはれ

鶉口
葵道
可洞
尾尾
雲冬
志平
雨音
旗風
旗平
雨結
陸妻
指結
旗平
辺川
浪文

暖かい身枝

結露のしずかにあつた天竺の佛
境のうららかな世のまはりかたは

京

引泉

十六合

妙は縁乃の角のくちやあつたま

通肥

東寺の彩棋

此彩棋の羽織くちやあつたま

京

瓦合

古木

まゝのくちやあつたま

京

二輪

峯入

みゆりやあつたま

京

梅合

古木

は理のまはりかたは

京

仙凡

出代

新木のまはりかたは
出代はあつたま
あつたま

京

縁合

京

却友

春五十六

松

あつたま

丹

一琴

宿井のまはりかたは

上

米砂

あつたま

丹

人孫

あつたま

京

若舟

あつたま

京

若和

あつたま

京

志仙

あつたま

京

若舟

あつたま

京

橋井

あつたま

京

自來

櫻

はるか昔に
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる

五雲
涼瓜
郎娥
聖角
折風
藤原

夫日五ノ九

山櫻

あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる
あはれなる

宮胤
致一
桐亭
木柱
槐之
杜音
素雪

遅梅

花守

花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる

花守
花守
花守
花守
花守
花守
花守
花守
花守
花守

春六十

花守

花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる
花守のまはるる花守のまはるる

花守
花守
花守
花守
花守
花守
花守
花守
花守
花守

花見

花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり
花見の心は春の心なり

梅狩

梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり
梅狩の心は春の心なり

桃

桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり
桃の花は春の心なり

仙風
素兆
梅里
盤橋
蓬遠
李亭
榮
貞松

梨花

つらふあまのつらふもけり
及のらけ和たりの梅の花
ふはの仙女はつらふもけり
心くくものつらふもけり
秋のつらふもけり
月乃つらふもけり
おきつらふもけり
縄打つらふもけり
おきつらふもけり
つらふもけり

追分 行楽
加賀 柳南
之助
三川 再之
浪茶 蘇介
紀后 以中
對井

春正八二

李花
木花
林檎
材花
海棠

あまのつらふもけり
おきつらふもけり
かたつらふもけり
中つらふもけり
おきつらふもけり
海棠つらふもけり
おきつらふもけり
おきつらふもけり
おきつらふもけり
おきつらふもけり

近江 左右
加南
呂情
末 浦忍
子忠
信守
江戸 唐舟
海老 徳島
尾花 東波
母后 支百

山吹

木瓜花
木蓮
亭夷
馬蹄花
檨花
藕花
檨花

木瓜花
木蓮
亭夷
馬蹄花
檨花
藕花
檨花

木瓜
文心
苦節
龍
大烟
上
風翠
草海
頂雪

春六ノ四

沉丁花
長空
小粉園花
石楠花
梅桃花
亭夷菊
金葉
九葉
櫻科
母子草

沉丁花
長空
小粉園花
石楠花
梅桃花
亭夷菊
金葉
九葉
櫻科
母子草

無二
效枝
荒
志江
秋和
松葉
清湖
採梅
共全

五形 芽花 合信 虎杖 董 王后 薛生初 青麥

五形 芽花 合信 虎杖 董 王后 薛生初 青麥
 一徹 梅田 巴菊 探囊 妹鼓 但子 下世 信子 上世 七石 約我

春六ノ九

蕪荳 三月菜 茶摘 茶葉撰

蕪荳 三月菜 茶摘 茶葉撰
 烏稿 蘭長 蕪荳 信子 大和 梅田 金生 山人 春丈 其朝

烏稿 蘭長 蕪荳 信子 大和 梅田 金生 山人 春丈 其朝

新稿

捕まひてはくしつゝのきりりか
ぬりぬりしつゝも葉のひら
くま捕まひてはくしつゝのきりりか
葉のひらくま捕まひてはくしつゝのきりりか
かゝりぬりしつゝも葉のひら
たきりぬりしつゝも葉のひら
葉のひらくま捕まひてはくしつゝのきりりか
ぬりぬりしつゝも葉のひら
かゝりぬりしつゝも葉のひら

寸江
故栖
航舞
樂志
如在
東走
陶々
上人
江山
浅里

卷六六

蠶

呼子鳥

書の尾まゝのきりりか

以琴

鷹巢

かゝりぬりしつゝも葉のひら

紅

麥鷄

たきりぬりしつゝも葉のひら

之福

田圃化鷄

かゝりぬりしつゝも葉のひら

杜李

鳥啼

たきりぬりしつゝも葉のひら

其西

雲鳥

かゝりぬりしつゝも葉のひら

純市

如風

かゝりぬりしつゝも葉のひら

如風

櫻鯛

櫻魚

櫻絨

櫻貝

柳競

若點

汲船

しんぎや梅さくらけさく網

梅さくらけさく網さくらけ

よし梅さくらけさく梅さくら

若さくら梅さくら乃日和那

競さくら梅さくらさくらさくら

しんぎやさくらさくら競の彩

日さくらさくら梅さくらさくら

梅さくらさくら梅さくらさくら

梅さくらさくら梅さくらさくら

金鏡

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

春六十七

魚上薬

長近

長待

春暮

やんまのさくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

梅さくら梅さくら梅さくら梅さくら

古州

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

梅也

暮春

行春

春六八

大和路もよみよきとてしき風も
甲斐もよみよきとてしき風も
古方此は昔もよきとてしき風も
花もよみよきとてしき風も
山もよみよきとてしき風も
梅もよみよきとてしき風も
大急もよみよきとてしき風も
改相もよみよきとてしき風も
行春もよみよきとてしき風も

定本

藩尺

京 彫鼓

後破女 梅漢

梅東

此書

大急

土作 改相

甲斐 改相

行春

春六八

惜春

三月盡

春もよみよきとてしき風も
山もよみよきとてしき風も
梅もよみよきとてしき風も
大急もよみよきとてしき風も
改相もよみよきとてしき風も
行春もよみよきとてしき風も

吳伝 蘭戸

丹后 昌字

吳伝 年法

幕子

喜容

妻二

麥摺

曉基

巴川

成后 洗柳

天

田育

天

行... 之... 其... 也... 乃... 自

馬... 越... 吳... 吳... 吳... 吳... 吳... 吳...

春六九終

